

# デイーン・ボーン展



DEAN BOWEN

オーストラリアの大地と空と  
そこに生きる私たち

Australia:  
Land, Sky, Birds and Creatures



2023  
7/8 Sat → 8/27 Sun



群馬県立近代美術館  
THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA

後援 オーストラリア大使館

# DEAN BOWEN

Australia:  
Land, Sky, Birds and Creatures



## 展示内容 EXHIBITION CONTENTS

オーストラリアのメルボルンを活動の拠点とするディーン・ボーエン（1957- ）は、さまざまな表現方法とその豊かな想像力とユーモアで、オーストラリアという大地のもつ風土と自然と宇宙、そこに生きる大きなものと小さなものたちを表現してきたアーティストです。

ロイヤルメルボルン工科大学で版画を学び、のちさまざまな職業に就くもみずからの創作活動への意欲は衰えず、ヨーロッパへ渡って版画工房で研鑽を積みました。フランスでは「アール・ブリュット」の大家ジャン・デュビュッフェの作品とその表現のあり方を知ることになります。

やがて、オーストラリアで最高位ともいわれるフリマントル版画賞グランプリ（1994）、さらに大阪版画トリエンナーレで特別賞を連続受賞（1994 | 1997）しますが、版画や絵画だけでなく、彫刻や廃材からつくるアサンブラージュにも、表現の可能性を見いだすようになりました。彫刻の多くはまるでボーエンの版画作品から飛びだしてきたような「どこか平面的」な立体であり、アサンブラージュ（寄せ集め）であり、あまたのセルフポートレートともいえるでしょう。

また、ボーエンは幼時から身のまわりに生息する生きもの、オーストラリアに固有の動物たちにも親しみをおぼえました。自刻像の頭に載るハリモグラは祖母がボーエンのツンツンと逆立つ髪をハリモグラに喩えたことから生まれたものですし、彼の作品には、ワライカワセミ、コアラ、ウォンバットのほか、架空の鳥や昆虫までたくさん登場します。さらには、人々の暮らす家と、自動車や飛行機、船といった乗り物もしばしば登場しますが、それらは私たち人間の「どこか遠くへ旅立ちたい」という願いを表してもいるようです。

私たちの周りに広がる果てしない世界へ、南半球のオーストラリアでアーティスト・ボーエンの創作の冒険はつづきます。本展では、版画 80 点のほか、油彩や水彩、ブロンズ彫刻、アサンブラージュ、アーティストブックなど、全 150 点をご紹介します。カラフルで可愛らしいモチーフをとおした、彼の自然や命へのまなざしをおたのしみください。

## ディーン・ボーエン Dean Bowen 略歴

1957 年、オーストラリアのヴィクトリア州メアリボローに生まれる。メルボルンを活動拠点に、版画、油絵、水彩、彫刻、ファウンド・オブジェからなるアサンブラージュと、幅広い表現方法で作品制作し、描いたものが、さらにタペストリーやアニメーションといった異なるメディアに応用されて、現代オーストラリアを代表するアーティストとなる。



## 作家 ARTIST



# DEAN BOWEN

Australia:  
Land, Sky, Birds and Creatures



## 開催概要 OVERVIEW

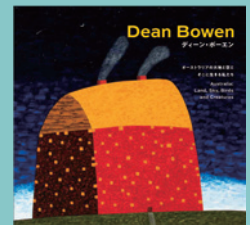
展覧会名	ディーン・ボーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち Dean Bowen Australia: Land, Sky, Birds and Creatures
会場	群馬県立近代美術館 展示室1
会期	2023年7月8日(土)～8月27日(日)
開館時間	午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日	月曜日(7月17日、8月14日は開館)、7月18日
観覧料	一般 800(640)円 大高生 400(320)円 ※( )内は20名以上の団体割引料金 ※中学生以下、障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料
主催	群馬県立近代美術館
特別協力	ギャラリー宮脇
企画協力	アートプランニングレイ
後援	オーストラリア大使館
協力	日本航空



AUSTRALIAN EMBASSY TOKYO  
在日オーストラリア大使館

## 展覧会図録

Exhibition Catalogue



『ディーン・ボーエン』  
税込 2,000円  
総 144 ページ  
判型 200×210mm

## イベント EVENTS

### トークイベント

「ディーン・ボーエンの魅力」

登壇者：宮脇豊（ギャラリー宮脇代表）

友井伸一（徳島県立近代美術館学芸員）

太田佳鈴（群馬県立近代美術館学芸員）

日時：8月12日(土) 14:00～15:30

場所：2階講堂 定員：100名 申込不要、参加無料

### 学芸員による作品解説会

日時：7月15日(土)、8月2日(水) 14:00～15:00

場所：展示室1 申込不要、要観覧料

## お問い合わせ INQUIRY

群馬県立近代美術館

広報担当 見城久美子 KENJO Kumiko

E-mail kenjyo-kumiko@pref.gunma.lg.jp

370-1293 群馬県高崎市綿貫町 992-1

TEL 027-346-5556 / 5560

FAX 027-346-4064

## こども+おとな+夏の美術館

KODOMO + OTONA + MUSEUM  
in SUMMER

7月22日(土)～8月27日(日)

夏休み期間中、子どもから大人まで楽しめる様々な体験活動やワークショップをおこないます。詳細は当館ホームページでご確認いただくかお問い合わせください。



昨年の様子

群馬県立近代美術館

THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA



# DEAN BOWEN

Australia:  
Land, Sky, Birds and Creatures



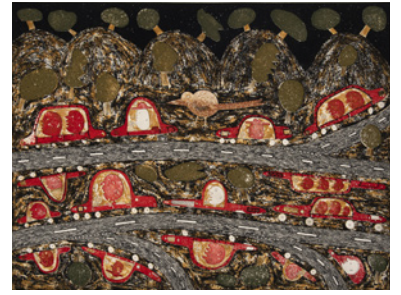
01



02



03



広報用画像  
PR IMAGES

04



05



06



\*キャプション・クレジットは広報用画像申込書でご確認ください。

07



08



09



## 広報用画像申込書

FAX 027-346-4064

E-mail kenjyo-kumiko@pref.gunma.lg.jp

群馬県立近代美術館 広報担当 見城 TEL 027-346-5556 / 5560

「ディーン・ボーエン展 オーストラリアの大地と空とそこに生きる私たち」の広報用画像1～9を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、上記FAX番号、もしくはEメールでお申し込みください。

### 広報用画像

チェック欄	画像 No.	キャプション・クレジット
<input type="checkbox"/>	01	《コアラ》Koala 2020年 ブロンズ 作家蔵 Collection of the artist
<input type="checkbox"/>	02	《黒いカナリア》Black Canary 2015年 リトグラフ、紙 ギャルリー宮脇蔵 Collection Galerie Miyawaki, Kyoto
<input type="checkbox"/>	03	《ハイウェイ・バード(大)》Highway Bird(Large) 1995年 エッチング、アクアティント、ドライポイント、紙 ギャルリー宮脇蔵 Collection Galerie Miyawaki, Kyoto
<input type="checkbox"/>	04	《愛の家(小)》The House of Love(Tiny) 2019年 ブロンズ 作家蔵 Collection of the artist
<input type="checkbox"/>	05	《ムーン・ドッグ》Moon Dog 1998年 エッチング、アクアティント、 ドライポイント、紙 ギャルリー宮脇蔵 Collection Galerie Miyawaki, Kyoto
<input type="checkbox"/>	06	《たくさんの窓のある家》The House of Many Windows 2021年 油彩、カンヴァス 作家蔵 Collection of the artist
<input type="checkbox"/>	07	《ぼくの頭にのるハリモグラ》Echidna on my Head 2006年 ブロンズ 作家蔵 Collection of the artist
<input type="checkbox"/>	08	《夜のワライカワセミ》Nocturnal Kooka 2012年 油彩、板 ギャルリー宮脇蔵 Collection Galerie Miyawaki, Kyoto
<input type="checkbox"/>	09	《ジェントル・ボーイ》The Gentle Boy 2018年 アサンブラージュ(着色した金属、ほか) 作家蔵 Collection of the artist

### 広報用画像の使用に関するお願いとご注意

この度は「ディーン・ボーエン展」をご紹介いただき、誠にありがとうございます。  
貴媒体にて本展の作品画像を使用される場合、下記の規定に基づいてご使用をお願い申し上げます。

- 1) 作品はなるべく全図で使用してください。極端なトリミング、文字のせ等はお控えください。
- 2) ご使用の際は、必ずクレジット(作品名、制作年、所蔵、できるかぎり英語表記、技法材質まで)記載ください。
- 3) 作品画像のご使用は本展の告知を目的とした記事・番組に限ります。また、本展終了後の掲載、放送などは原則としてご容赦願います。
- 4) デジタル画像は全てjpgで、メール送信いたします。
- 5) ご掲載紙・誌を1部ご寄贈いただけますようお願いいたします。

### 貴媒体について

貴社名：	ご担当者名：
貴媒体名：	E-mail：
TEL：	FAX：
掲載予定日：	読者招待券： <input type="checkbox"/> 希望する(5組10枚) <input type="checkbox"/> 希望しない